

教科	科目名			単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
情報	情報Ⅰ			2	必修	実習・講義	30	▽	再	再	再
学習目標	○日常生活や学習、社会での活動において、情報や情報技術を適切に活用する能力を身に付ける。 ○アルゴリズムの概念やプログラミングの基礎を学び、問題解決に役立つ能力を身に付ける。										
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習	○情報とメディア ○情報社会における法とセキュリティ ○情報技術が社会に及ぼす影響 ○情報のデジタル表現 ○コミュニケーション手段の発展と特徴 ○情報デザイン ○プレゼンテーション ○コンピュータのしくみ ○プログラミング ○モデル化とシミュレーション ○ネットワークのしくみ ○データベースとデータの分析									
教科書 副教材等	104	東書	情Ⅰ701	『新編 情報Ⅰ』(東京書籍出版) 『新編 情報Ⅰ 資料ノート』(東京書籍出版)							
留意事項	○「情報Ⅰ」は情報関連科目の基礎科目である。 ○「情報Ⅰ」は卒業までに2単位履修しなければならない(16期生以降)。 ○「社会と情報」の未履修者(15期生まで)は卒業までに「情報Ⅰ」2単位を履修しなければならない。 ○「社会と情報」を履修済みの生徒は履修できない。 ○資格試験受験の際には、受験料・問題集代などがかかる。										
評価の方法	☒ 出席状況		☒ 授業への取組		☒ 課題等の提出		☒ 定期考査				
以上の点を総合的に評価する。											
履修条件 セルフチェック	☐ 「社会と情報」を履修していない。 ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『「P検」3級テキスト』(P検協会) 『いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書＋出る順問題集』(SBクリエイティブ)										

教科	科目名			単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
情報	情報の表現と管理			2	自由選択	実習・講義	24	-	○	○	○
学習目標	○テキスト、画像、音声、動画などのデータを活用し、効果的な表現方法を学ぶ。 ○データを扱う方法を理解し、適切にデータや情報を整理、管理する能力を身に付ける。										
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○メディアの種類と特性 ○文書・図解による表現技法 ○プレゼンテーションの基礎 ○ドキュメンテーション ○コンピュータによる情報の管理と活用 ○コミュニケーションの基礎 ○音・画像・動画による表現技法 ○ネットワークを活用した情報発信 ○情報の管理									
教科書 副教材等	7	実教	情報 702	『情報の表現と管理』(実教出版)							
留意事項	○「情報の表現と管理」は、情報関連科目の基礎的な科目である。 ○令和5年度から教科書が改訂されたため、令和4年度以前から再履修の生徒は再度購入。 ○資格試験受験の際には、受験料・問題集代などがかかる。										
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☐ 定期考査 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件 セルフチェック	☐ 現在 1 年次以上である。 ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『できるキッズ 子どもと学ぶ Scratch3 プログラミング入門 できるキッズシリーズ』(竹林暁, 澤田千代子) 『デザインの学校これからはじめる Premiere Pro の本』(佐藤太郎, 白井小太郎)										

教科	科目名			単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
情報	情報Ⅱ			2	自由選択	実習・講義	20	-	○	○	○
学習目標	○情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、社会の問題を発見、解決する力を身に付ける。										
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習	○情報社会の進展と情報技術 ○コンテンツの制作と発信 ○データサイエンス ○情報システムと情報セキュリティ									
教科書 副教材等	2	東書	情Ⅱ701	『情報Ⅱ』（東京書籍出版）							
留意事項	○「情報Ⅱ」は情報関連科目の発展科目である。 ○「情報Ⅰ」の理解を前提とした応用的な内容である。 ○資格試験受験の際には、受験料・問題集代などがかかる。 ○共通テストで情報科目を受験予定の生徒が望ましい。										
評価の方法	☒ 出席状況		☒ 授業への取組		☒ 課題等の提出		☒ 定期考査		以上の点を総合的に評価する。		
履修条件 セルフチェック	☐ 「情報Ⅰ」もしくは「社会と情報」を履修済み(または見込み)である。 ☐ 現在1年次以上である。 ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『令和6年度 栢木先生の基本情報技術者教室』（栢木厚）										

教科	科目名		単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
情報	情報実習		2	自由選択	実習・講義	30	-	○	○	○
							※4年次:16期のみ			
学習目標	○プログラムの作成を通して、物事を順序だてて思考する力を身に付ける。 ○問題解決のために何が必要か思考し、プログラムを作成することで解決へと導く力を身に付ける。									
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○情報システムの開発の概要 ○情報システムの設計 ○情報システムの開発と評価 ○情報システムの運用と保守 ○コンテンツの制作の概要 ○要求分析と企画 ○コンテンツの設計と制作 ○コンテンツの運用と評価								
教科書 副教材等	授業プリントなど									
留意事項	○「情報実習」は情報関連科目の総合的科目である。 ○「情報Ⅰ」の理解を前提とした発展・応用的な内容である。 ○資格試験受験の際には、受験料・問題集代などがかかる。									
評価の方法	☒ 出席状況		☒ 授業への取組		☒ 課題等の提出		☐ 定期考査			
以上の点を総合的に評価する。										
履修条件 セルフチェック	☐ 「情報Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。 ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。									
オススメ図書										